



2025 年 5 月 9 日

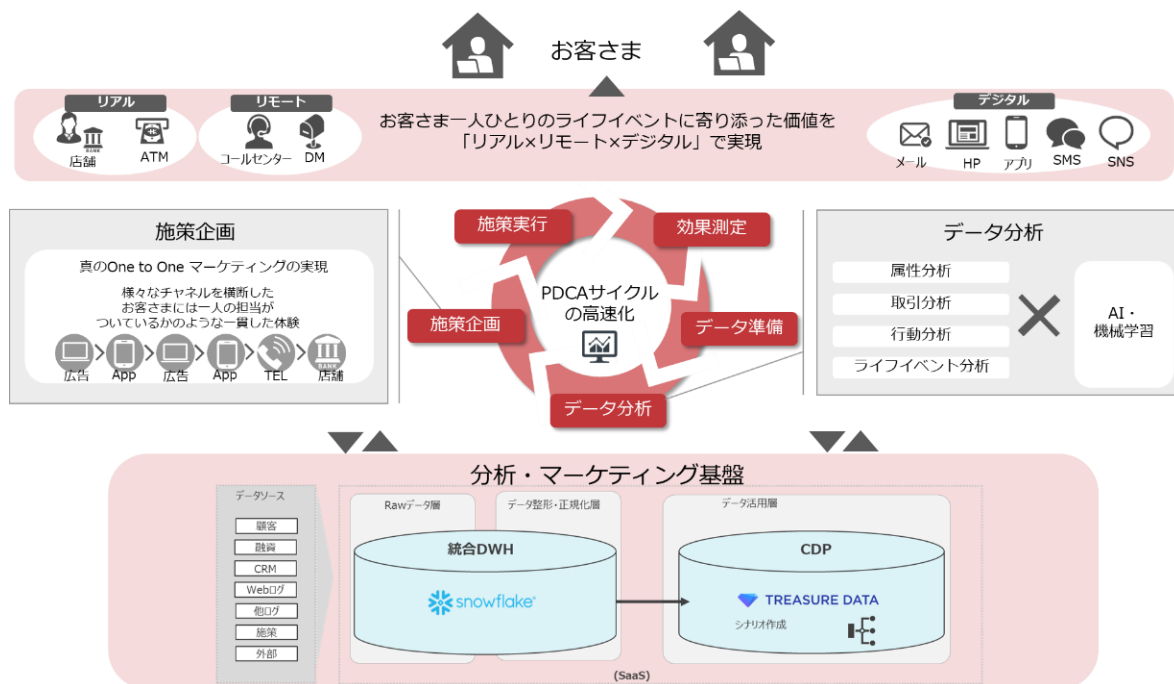
One to Oneマーケティングの高度化について ～分析・マーケティング基盤の構築～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、日鉄ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 玉置 和彦）および日本情報通信株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 桜井 伝治）との連携において、「One to Oneマーケティングの高度化」を目指すため「分析・マーケティング基盤」を構築し、2025年3月21日よりサービスを開始しました。本基盤を活用することで、お客さま一人ひとりに最適なタイミングで最適な情報やご提案をお届けします。

近年、デジタル化の進展に伴い、お客さまのニーズや行動パターンはますます多様化しています。当行では、こうした変化に柔軟に対応し、お客さま一人ひとりに寄り添った金融サービスを提供するため、これまでも「One to Oneマーケティング」の取組みを積極的に進めてまいりました。

今回構築した「分析・マーケティング基盤」では、分析データを一元的に集約する基盤にクラウドデータプラットフォーム「Snowflake※¹」を採用し、顧客データ活用サービス「Treasure Data CDP※²」を連携させました。本基盤には、従来からの預金口座等のデータのほか、アプリやメール等におけるお客さまの行動データなどを集約します。本基盤の活用により、お客さまのニーズに沿った商品・サービスの提案を、最適なアプローチチャネルから行い、「One to Oneマーケティング」の高度化を推進します。

今後も当行はデータの利活用を進めることで、お客さま体験をより良いものに変革し、地域に寄り添い、選ばれるエンゲージメントバンクを目指します。



※¹ Snowflake

<https://www.snowflake.com/ja/>

※² Treasure Data CDP

<https://www.treasuredata.co.jp/>

・本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です